

## 「だて環境だより」とは？

伊達市環境まちづくり情報紙「だて環境だより」は、環境保全に関する市の取り組みや環境基本計画づくりの状況を市民のみなさんに分かりやすくご紹介し、関心や興味を持ってもらうことを目的として創刊しました。

今回は、平成 23 年 3 月の策定を目指し、現在検討中の「伊達市環境基本計画」についてと、今年 1 月に実施した「伊達市の環境についてのアンケート調査」の結果をご紹介します。

## 「伊達市環境基本計画」ってなに！

### Q なぜ計画を作るの。どのような計画なの。

🍃 平成 18 年 1 月 1 日に伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町が合併し、伊達市が誕生しました。市では、緑豊かな山間地から果樹園や農地の広がる平地、市街化の進む都市的な地域まで、地域で異なる環境の特徴や課題に対応した環境づくりの指針が必要となっています。この計画は、現在の緑豊かで住み心地のよい快適な環境を保全し、将来の子どもたちに継承していくために、市民や事業者のみなさん、そして行政（市）がそれぞれの立場でやるべきことを定める計画です。概ね 10 年後の平成 32 年を目指した長期的な計画です。



### Q 私たちはなにをすればいいの。



🍃 計画では行政（市）がやることばかりでなく、市民や事業者のみなさんが日常生活や事業活動で取り組むことなども定めます。そこで、市では市民や事業者のみなさんにアンケート調査を行い、環境保全への考えや要望などを調査しました。また、今後、市民の皆さんの参加による市民会議を予定しています。こうして得られたみなさんの意識や意向を今後の計画づくりに生かしていきます。



阿武隈川五十沢地区の白鳥



茶臼山頂上の桜



愛宕山



つつこ引き祭り



御幸山

# 伊達市の環境についてのアンケート調査結果(概要)

## —環境基本計画計画策定に向けてアンケート調査を実施—

市では「伊達市環境基本計画」の策定に向けて、市民や中学生のみなさんが日頃考えている環境のことや市の環境に対する思い、市に望む環境への取り組みなどをお聞きし、今後の計画づくりに反映させるために、アンケート調査を行いました。

今回は、その調査結果の一部をお知らせします。

### アンケート調査の概要

#### ■調査対象

- ・20歳以上の市民 2,000人
- ・市内6中学校の2年生

#### ■調査時期

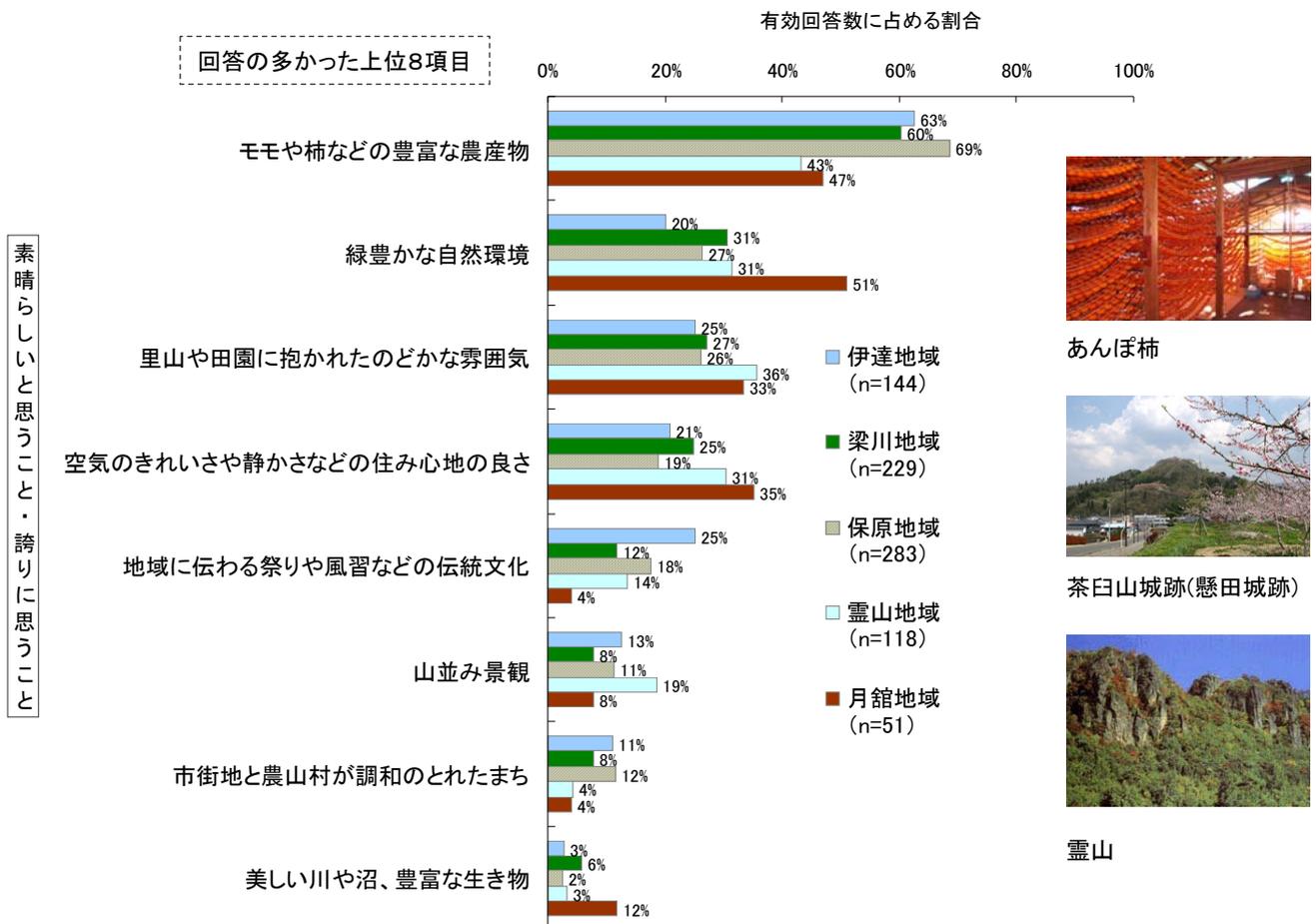
平成21年1月

#### ■有効回答者数

市民 905名(回収率 約45%)  
中学生 679名

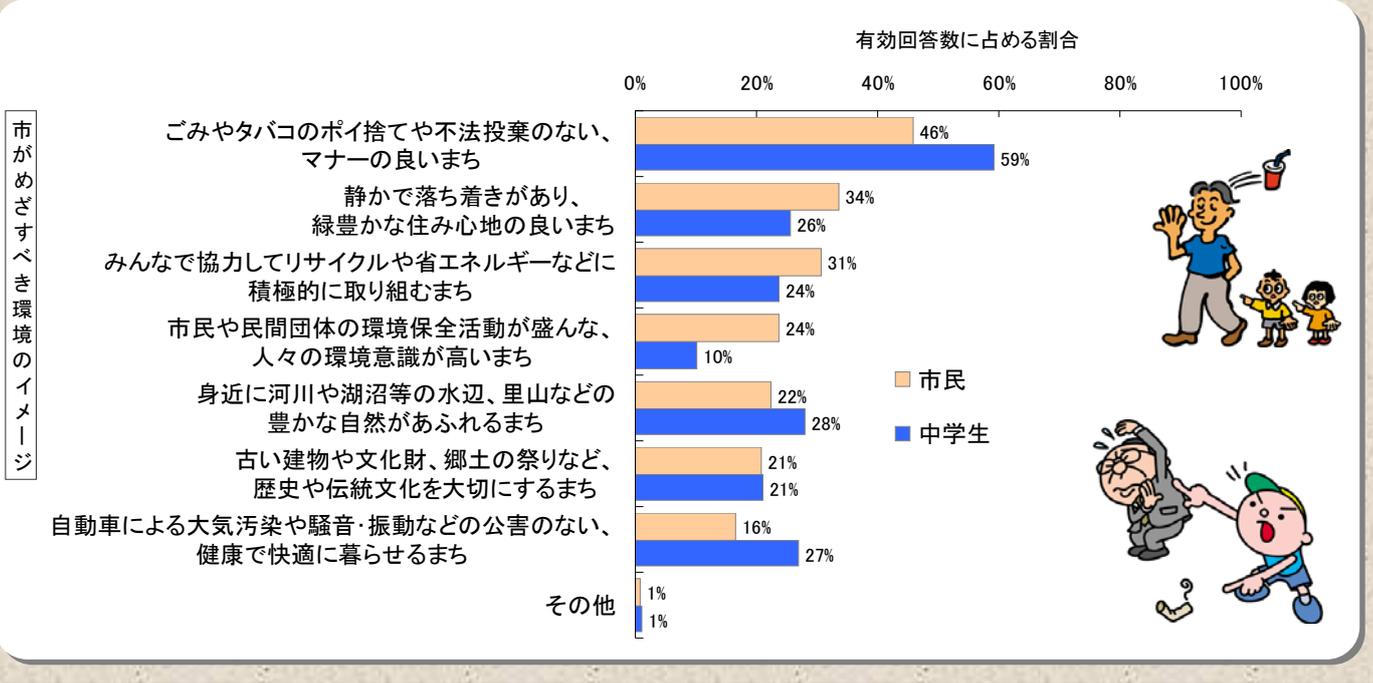
## ■伊達市内の環境で「素晴らしい」、「誇り」と思うこと

- ・各地域で傾向が異なっており、それぞれの郷土の自然・文化に対する深い思いがうかがえます。
- ・福島盆地の平野部に位置する伊達、梁川、保原地域では、「モモや柿などの豊富な農産物」が最も多く、果樹(モモ、アンボ柿、ブドウ、リンゴ等)や野菜を中心とした園芸作物が盛んで、県内有数の生産量を誇る地域の特色がよく出ています。
- ・阿武隈高地の中山間地域に位置する霊山、月舘地域では、「里山や田園地域に抱かれたのどかな雰囲気」、「空気のきれいさや静かさなどの住み心地の良さ」が他地域に比べ多いのが特徴的です。
- ・霊山地域では、他地域に比べ「山並み景観」を挙げる人が多く、国史跡及び名勝に指定されている霊山県立自然公園の美しい山並みを誇りに思う人が多いことが分かります。
- ・月舘地域では、他地域に比べ「緑豊かな自然環境」、「美しい川や沼、豊富な生き物」が多く、豊かな自然環境を地域の誇りに思う人が多いことが分かります。



## ■伊達市が目指す将来の環境のイメージ

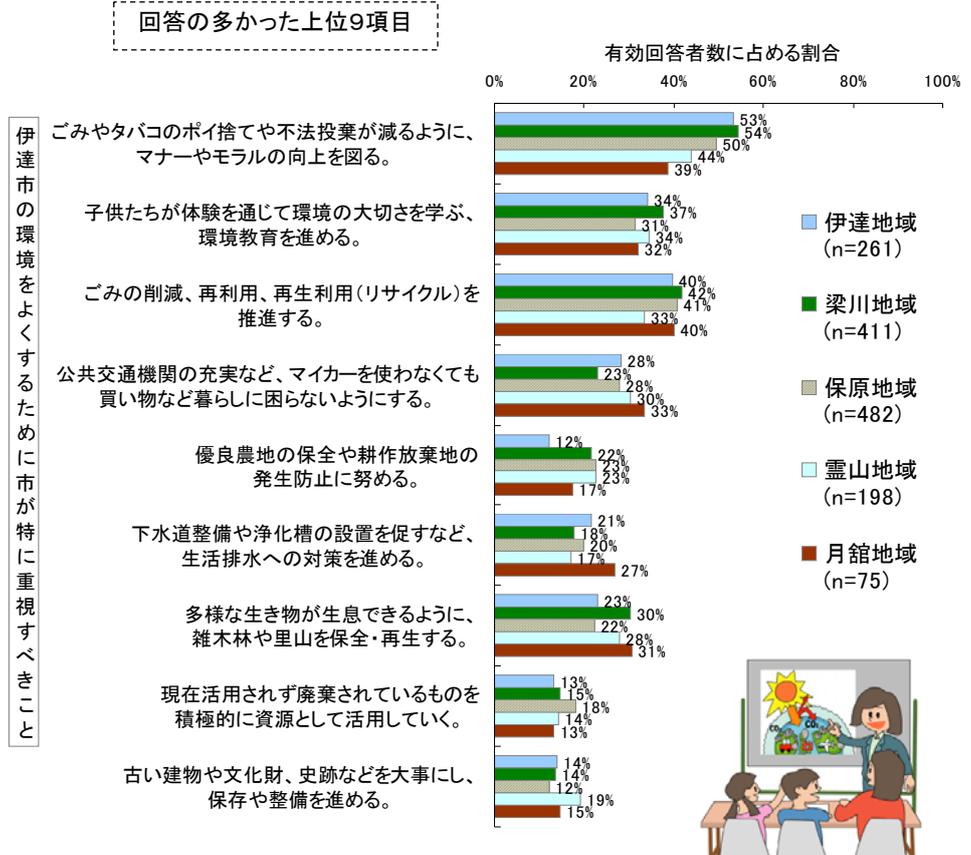
- 市民・中学生の半数近くが、「ポイ捨てや不法投棄のない、マナーの良いまち」を望んでいます。



## ■市に特に重点的に取り組んでもらいたいこと

- 「ポイ捨てや不法投棄が減るようにマナー・モラルの向上を図る」は、特に市街化の進む伊達・梁川・保原地域において強く望まれています。
- 公共交通の利便性が低い月舘・霊山地域では、「マイカーを使わなくても買い物など暮らしに困らないようにする。」「低公害車を普及させる。」といった要望が他地区に比べ多い傾向です。
- 月舘地域では、「生活排水対策」も望まれています。

これらの意見を、市の環境施策の検討に生かしていきます。



アンケート調査へのご協力ありがとうございました。皆さんからいただいた貴重な意見を、今後の計画策定に生かしていきます。

# 伊達市が重点的に取り組むべき課題を整理しました。

アンケートで市民の皆さんからいただいた意見や意向、既存資料等による市の環境の現状に関する調査結果等を踏まえ、市の環境の課題を抽出しました。

環境基本計画を検討する際は、これらの点について特に重点的に検討します。

## ■自然環境について

- 森林環境税を活用するなどした、適切な森林づくりによる公益的機能の維持・回復、吸収源の確保
- 農業振興や地域振興と一体となった、耕作放棄地や遊休農地の利活用方策の検討
- 遊び等を通じた子ども達の自然体験の促進

## ■生活環境について

- 屋外焼却（野焼き）禁止の周知徹底
- 広瀬川・古川の汚濁負荷軽減に向けた生活排水処理施設の計画的な整備・普及
- 市民や事業者と一体となった3Rの取り組み推進

## ■快適環境について

- 市内に点在する郷土の歴史・文化的資源の保全・活用を通じた次代への継承
- 清潔で美しいまちづくりに向けた、市民一人ひとりのモラルの向上、実効性のある対策の検討

## ■地球環境について

- 産業振興と両立した市内製造業における実効性のあるCO<sub>2</sub>排出抑制施策の検討
- 地域の自然的特性や自然資源を活かした再生可能エネルギーの利活用促進
- 公共交通空白・不便地域の解消、公共交通の利便性向上による自動車利用の抑制
- 低公害な自動車の利用やエコドライブなど、環境負荷の少ない自動車利用の促進

## ■環境保全に取り組むための基盤づくりについて

- 地域に根ざした環境保全ボランティアや、それらの活動を牽引・指導するリーダーの育成
- 地域における環境保全の基盤となるコミュニティ組織の整備・充実
- 市民や事業者の環境保全に対する主体的な取り組み意欲を引き出す仕組みづくり

## 伊達市の環境を考える市民会議の委員を募集します。

### 伊達市の環境について一緒に考えましょう。

市民や事業者のみなさんの視点から、伊達市の環境の現状を見つめ直し、今後の取り組みを考えてもらうため、市民会議を開催します。

詳しい内容等については、下記まで問い合わせ下さい。

伊達市 市民生活部 環境防災課 環境係

〒960-0692

伊達市保原町字船橋 180 番地

市民生活部環境防災課環境係

TEL 024-575-1228 (直通)

FAX 024-576-7199

E-mail kankyo@city.date.fukushima.jp

## ■募集内容

### 応募資格

市内に1年以上住居する20歳以上の方で、次の①②に該当しない方。

①当市民会議委員の委員として構成員を推薦する団体に所属している方。②国若しくは地方公共団体の議員又は職員の方。

### 申込み

ハガキに「伊達市の環境を考える市民会議委員申込書」と記載し次の内容を記入して左記までお申込み下さい。

①住所・②氏名・③年齢・④職業・⑤各種加入所属団体名  
⑥環境問題で特に関心のあること

公募人員 5人

募集期間 平成21年6月1日～6月15日(消印有効)

開催期間 平成21年7月～平成22年10月(8回程度)